

## 2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科	科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	演習
科 目 名	言語学演習 I	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1)
対 象 学 年	1年生	学期及び曜時限	前期	教室名	702教室
担 当 教 員	高 栂 有 里				
実務経験と その関連資格	総合病院にて急性期リハに従事した経験有。 日本言語聴覚士協会 会員 兵庫県言語聴覚士協会 会員 神経心理学会 会員 医学教育学会 会員 医療の質・安全学会 会員				
《授業科目における学習内容》					
普段、何気なく行っているコミュニケーションについて考えてみましょう					
《成績評価の方法と基準》					
出席点100%					
《使用教材(教科書)及び参考図書》					
資料					
《授業外における学習方法》					
当事者の方々とコミュニケーションを取るにあたって、まずは身近な人とのコミュニケーションについて考えてみましょう。					
《履修に当たっての留意点》					
コミュニケーション障害は、こちらの関わり方次第で軽減することができます。 <span style="float: right;">実習</span> を通して、もう一度コミュニケーションとは何かを考える機会としてください。					
授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	コミュニケーションの基本的な考え方	レジュメ		
	各コマにおける授業予定	自己紹介をしてみよう。クラスメイトを知ろう。			
第2回	授業を通じての到達目標	コミュニケーションの基本的な考え方	レジュメ		
	各コマにおける授業予定	コミュニケーションとは何か？なぜ、コミュニケーションを学ぶのか。			
第3回	授業を通じての到達目標	コミュニケーションに必要とされる力①	レジュメ		
	各コマにおける授業予定	傾聴力、人間関係を発展させる力			
第4回	授業を通じての到達目標	コミュニケーションに必要とされる力②	レジュメ		
	各コマにおける授業予定	傾聴力、人間関係を発展させる力			
第5回	授業を通じての到達目標	バーバルコミュニケーション①	レジュメ		
	各コマにおける授業予定	ことばとコミュニケーション ことばの働き			

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	バーバルコミュニケーション②	レジュメ	
	各コマにおける授業予定	ことばとコミュニケーション ことばの働き 人間関係を発展させる力		
第7回	授業を通じての到達目標	ノンバーバルコミュニケーション①	レジュメ	
	各コマにおける授業予定	なぜノンバーバルコミュニケーションを学ぶのか 五感を活用する。		
第8回	授業を通じての到達目標	ノンバーバルコミュニケーション②	レジュメ	
	各コマにおける授業予定	感情の表現 ことばだけでは足りない(目線、視線、姿勢、動作)		
第9回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第10回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第11回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第12回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第13回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第14回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			
第15回	授業を通じての到達目標			
	各コマにおける授業予定			